



卒業式

2009年度 鳥取環境大学 学部・大学院 学位授与式を、3月20日（土）に本学講堂にて執り行いました。第6期生となる学部卒業生は206名、大学院修了生は7名で、古澤学長、各学科長より学位記が授与されました。卒業生を代表して、情報システム学科の西垣桂さんが、「これからは、今まで以上に様々な壁が目の前に立ちまはりますが、本学で得た貴重な経験や問題を発見し解決する力を活かして、立ち向かっていきます。」と答辞を述べました。



入学式

2010年度 鳥取環境大学 学部・大学院 入学式を、4月4日（日）に本学講堂にて執り行いました。晴れて第10期生となった学部新入生は150名、大学院入学生は13名で、古澤学長より入学を許可されました。学部新入生、大学院新入生それぞれが宣誓を行い、力強い決意を述べました。4年後、新入生がどのように成長し羽ばたいてくれるか、今から楽しみです。



とっとり県民カレッジ連携講座

鳥取環境大学公開講座2010

鳥取会場 鳥取県立図書館2階・大研修室 米子会場 今井書店「本の学校」2階・多目的ホール【時間】10:30～12:00

受講料
無料

事前に
お申し込みください

シリーズⅠ バイオマス利用の可能性

バイオマス利用と生物多様性

環境マネジメント学科 荒田 鉄二 准教授

現代文明は地球温暖化と石油資源の枯渇という危機に直面しています。この危機の打開策として、植物などのバイオマスは石油代替資源として利用することが検討されています。しかしながら、人類は既に地球全体の光合成による物質生産の1/4を直接・間接に利用しており、単純にバイオマス利用を増加させることは、地球生態系への圧力を高めることになります。この講座では、バイオマス利用と生物多様性の関係について解説するとともに、生物多様性の保護と両立するバイオマス利用の方向性を探ります。

6/5(土)

鳥取会場

6/26(土)

米子会場

シリーズⅡ 大人のためのプログラミング

コンピュータはなぜ動くのか～電気を使わない疑似コンピュータ体験～

情報システム学科 西澤 弘毅 講師

コンピュータはなぜ動くのでしょうか？この公開講座では、その理由を解説します。ただし、前提知識は一切必要ありません。参加者の皆さんに、言わばコンピュータの歯車として協力していただき、皆で一つの疑似コンピュータを演じていただきたいと思います。これによって、コンピュータによってできることとできないことを体感していただけます。最後にはコンピュータの気持ちもわかるかもしれませんね。

7/3(土)

鳥取会場

7/10(土)

米子会場

のりとはさみを使ってのプログラミング講座

情報システム学科 鷺見 育亮 教授

巻には、「猫でも・猿でも・犬でも分かるプログラミング」という本が出版されています。それでも「プログラミングの勉強はやったのに、プログラミングができない」という人が大勢います。そこでこの講座では講師が長年取り組んできたプログラミング教室開催で実績のあるノウハウを駆使して「のりとはさみを使ってのプログラミング講座」を行います。準備していただくものは、「のりとはさみ」だけです。

9/4(土)

鳥取会場

9/18(土)

米子会場

シリーズⅢ 地球をまもる、生命(いのち)をまもる

地球温暖化と私たちの生活

環境政策経営学科 衣川 益弘 教授

いま地球は、各所で悲鳴を上げ始めています。かつてない規模の大雨や干ばつ等により大きな被害が発生するなど、このまま進むと子どもたちに大きな負担を残すことになります。温暖化を始めとする地球環境問題は、「今それをやらなかったら将来何が起こるか」を考え、自らの負担に惑わされず、自ら率先行動することから始まります。何が起きているのかを身近な事象を交え解りやすく解説し、簡単な行動事例を提供することで、行動へのきっかけにさせていただきたいと考えています。

10/2(土)

鳥取会場

10/9(土)

米子会場

「地球のいのち」について考える

環境政策経営学科 細野 宏 教授

人間活動の拡大により地球上の非常に多くの種類の動植物が急速に絶滅しそうになってきています。国連による国際生物多様性年となっている本年、我が国では、10月にこの問題に関する条約について大変重要な国際会議(COP10)が開かれるなど、「地球のいのちをつないでいく」ための様々な取組が続けられています。今回は、こうした取組が地球環境や私たちのくらしや経済にどう関係していくかなどについて、幅広く検討してみたいと思います。

11/13(土)

米子会場

11/20(土)

鳥取会場

（お申し込み・お問い合わせ先）鳥取環境大学企画広報課 TEL. (0857) 38-6704 FAX. (0857) 38-6709 kouryu@kankyo-u.ac.jp

保護者の声

2010年度 新入生保護者 木島 久徳さん(鳥取県)

これから始まる学校生活にワクワクする気持ちと不安に思う気持ちが交錯していることと思います。決して恐れず、ぶつかっていきましょう。そしてどうか今までよりも、一歩でも二歩でも広い世界、これまでとは違うひと周り広い世界に目を向けてください。友と出会うことで自分を磨き、師と出会うことで自分を高めてほしいと思います。鳥取環境大学は先生と学生の距離が近いところが魅力だと思います。よいチャンスだと思います。存分に利用してください。

